

農業機械学会シンポジウム  
GAP を支援する農業技術・機械—GAP が求める農作業の水準—  
のお知らせ

東日本大震災の影響で本年3月29日より延期しておりました農業機械学会シンポジウムGAPを支援する農業技術・機械—GAP が求める農作業の水準—を下記日程で開催致しますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主 催：農業機械学会

協 賛：(独)農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター(生研センター)

開催日時：平成23年12月9日(金) 10:00~14:50(受付:9:30~)

開催場所：(独)農研機構 生研センター 散布実験棟 大会議室

(〒331-8537 さいたま市北区日進町1-40-2)

<http://brain.naro.affrc.go.jp/>

講演内容：

1. 開会挨拶 農業機械学会 会長(東京大学 教授) 大下 誠一 氏

2. 基調講演

①農業生産工程管理(GAP)を巡る状況について

農林水産省生産局技術普及課 課長補佐 森 幸子 氏

②JAグループ千葉におけるGAP取り組みについて

全国農業協同組合連合会 千葉県本部  
営農直販部 営農担い手対策グループ 調査役 遠藤正樹 氏

(昼食)

3. 講演(GAPに利用できる精密農業等関連の技術・機械の紹介)

ア. 食品安全・環境保全の視点

ドリフト低減ノズル等農薬の適正使用と減農薬に係る技術・機械について

(独)農研機構生研センター 生産システム研究部  
生育管理システム研究単位 主任研究員 吉田隆延 氏

イ. 労働安全の視点

農作業安全に寄与する技術と情報発信

(独)農研機構生研センター  
特別研究チーム(安全) 主任研究員 積 栄 氏

ウ. 情報化の視点

①農業機械の通信を共通化するISO11783(ISOBUS)の現状と今後

(独)農研機構北海道農業研究センター  
北海道畑輪作研究チーム 主任研究員 濱田安之 氏

②GISを利用した営農情報管理システム(FARMS)の現状と今後

(独)農研機構生研センター 生産システム研究部  
大規模機械化システム研究単位 主任研究員 林 和信 氏

## 会告原稿 1

4. 閉会挨拶 農業機械学会 副会長 ((独) 農研機構 理事) 行本 修 氏

**参加費**：当日受付にお支払い下さい

- ・ 一般：参加費：2,000 円 昼食：1,000 円
- ・ 学生・院生：参加費：無料、昼食：1,000 円

**参加申込締切**：平成 23 年 3 月 24 日 (木)

**問合せ・参加申込先**：

農業機械学会事務局宛て

E-mail：office[at]j-sam.org(できるだけ E-mail での申し込みをお願いします)

(メールアドレスの[at]を@で置き換えてください。)

TEL：048-652-4119、FAX:048-652-4119

**参加申込み方法**：

下記の事項をご記入の上、上記申込み先までお申込み下さい (できるだけメールでお願いします。)

- ① 氏 名 (ふりがな)
- ② 参加費の区分 (一般か学生・院生の別)
- ③ 所 属 (機関名・所属部署・職名)
- ④ 連絡先 (住所, TEL・FAX 番号, E-mail アドレス)
- ⑤ 昼食申込みの有無
- ⑥ 備考 (領収書の宛先に指定のある場合、またそれ以外のご要望等がありましたらご記入ください)

**参加申込み〆切**：

**平成 23 年 11 月 25 日 (金) (延長しました)**

できるだけ早くお申込み下さい。

その他：

なお。前日の 12 月 8 日 (木) に「農業機械学会シンポジウム第 16 回テクノフェスター環境・省エネ対応型農機の開発」が開催されます。